



# あだいびに☆

# 112号

令和6年9月20日

編集発行：男鹿潟上南秋医師会 <http://oknmed.jp>

〒010-0101 秋田県潟上市天王字追分西4-30-E ☎(018)872-1022 ☎(018)872-1021



## 目次

### 特集 お墓の話

- ・ 仏教の墓終いか 三浦一樹 … 2
- ・ あくびをしながらでもいいので 妹尾春樹 … 3
- ・ 墓地を滑走！ 小野塚直也 … 4
- ・ 知らなくてもいい秘密 齊藤 崇 … 5
- ・ 新しいお墓 今野則和 … 6
- ・ 墓 肥田野文夫 … 7
- ・ 熱海の実家を手放した話 漆畑宗介 … 8
- ・ お墓との長～いお付き合い 吉成ひろ子 … 9
- ・ 食育～生き物の命を頂く～ 秋元正年 … 10
- ・ 夏のおもいで 波多野善明 … 11
- ・ 墓穴を掘り続けて70有余年 佐々木康雄 … 13

### ● 会長レター③⑩ 盆も暮れも

佐々木範明 … 14

● 総 会 … 15

● 理事会 … 15

● 生涯教育講座 … 16

松岡 悟 先生 / 脇 裕典 先生

● 新入会員 … 18

近藤克幸 / 加澤隆康

● 私のおすすめ 松本敏江 … 20

● 今日の診察室から⑥ 坪井 純 … 21

● ナイトキャップ … 22

● 編集後記 … 23

● 表紙説明 … 24

特集

# お墓の話

## 「その時、どうします？」



話題にするのもお疲れモードの人口減には「墓じまい」や「菩提寺と墓の移転」「合葬墓」など墓地問題も併発しています。家を離れた子らが戻る見込みはない、自分も故郷の実家へ戻る予定はない、先祖代々の墓がないなど様々な事情があるでしょう。お墓に関する思い出やお考えを一筆よろしく。



## 仏教の墓終いか

藤原記念病院(潟上市)

三浦一樹

たまたま図書館で目にした『寺よ、変われ』(高橋卓志著、2009年初版)という本になり衝撃的なことが書かれています。それは2008年7月のニューヨーク・タイムズの記事を紹介したのだが、邦訳すると「日本で仏教は消滅しつつあるようだ」という内容であった。この外国メディアの記事

は、なんと我が医師会の足元である男鹿地域の寺に取材して書かれたものであったのだ。いまや日本中どこでも田舎には若者が定着せず、少子高齢化と過疎化が急激に進んでいる。そんな地域にも、信仰心からいささかかけ離れたような「メント・モリ(死を想え)」という言葉だけが流行語のようにテ



鑑真和上の墓 (奈良市唐招提寺 23年11月)

レビからは流れている。

人生百年時代などと喧伝される今日、人の死とその最後は、宗教界ではなく病院や介護施設などに委ねられ、「苦」から逃れる教えを説き、かつその生死にかかわる宗教であるはずの仏教はほぼ「死後の取り扱い事業」の様な立場に追いやられてしまっているように見える。葬儀や法要もお寺ではなく、外部の、忌まわしい死のイメージがまとわりつかないような名前「ホール」や「会館」で挙行される。その施設たるやお葬式を、ほとんど少なくなる結婚披露宴に代わるビジネスチャ

ンスであるかのようにテレビで宣伝するに憚りない。「唯仏的」どころではなく「唯物的」な営みだ。

毎年全国で秋田県の人口を超える100万人以上の方がお亡くなりになり、どう少なく見積もっても今世紀中に日本国土で1億人が入れ替わる。この大量死時代を宗教界はどう受け止め支えてくれるか。いささか心許ない気がする。

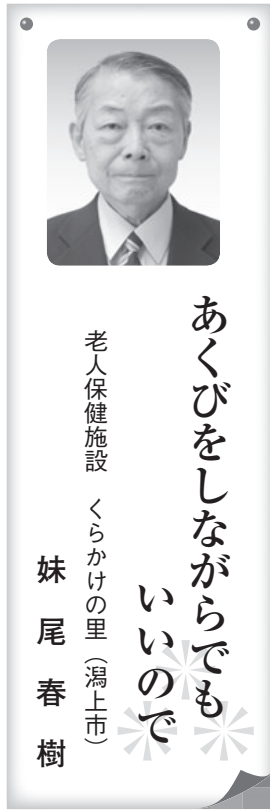
今日の、特にお寺の存在感の急激な衰退・減少は、これまでの歴史的に知られる権力者の政治的な意図による法難とは全く異なるものだ。何しろ、寺を支える人的経済的基盤が失われつつあるのだから。お寺といえは死の儀式ばかりがイメージされてしまうが、少し前までは村や集落などその地域の人間の生死の記録あるいは記憶の場としても大切な所であったはずだし、また、例えば自分が子供のころの「お寺さん」は、最近の言い方での「地域の文化的コモンズ」

の1つとして大きな位置を占めていたと思う。お墓があつて葬儀や法要だけをする所なわけではなかった。さすがに寺子屋はなかったが、農繁期の保育所のようなことや婦人会の活動の中心で、慈善事業や農家の主婦たちの慰安を兼ねた旅行なども先導されていたと記憶している。

時の流れは生活を変え、街並みを変え、心までも変えてしまった。人通りの多かった「羽

州街道」筋は車の往来も少ない。

小学校はあるが、近くにあった診療所や駐在所、消防署、役場も見当たらない。逆に「お寺さん」は古びながら昔からの場所にありお墓もそのままだ。お彼岸やお盆にしか訪れることもなくなってしまうてはいるが、訪れる区切りの日があるだけまだましなのかもしれない。習俗としての仏教が墓終いしつづつあるように感じてならない。



### あくびをしながらでも

いろいろ

老人保健施設 くらかけの里(潟上市)

妹尾春樹

パリに初めて行ったのは医学部に入学して2回目か3回目の夏休みでした。鉄道とユースホステルを利用してヨーロッパを1人で回った際です。この折に、当時従姉夫婦がそこに住んでいたの訪ねました。従姉は

帽子のデザイナーでジバンシーに勤め、配偶者である画家のAさん(写真は後に出版した多数の画集の一部)を支えています。2人で半日パリの町を案内してくれた場所の1つがペール・

ラシエーズ墓地でした。パリ・コミューンの市民側147人が虐殺された壁を見せてくれましたが、こちらは知識が乏しく、その歴史的な意味はよく分かりませんでした。それでもシャンポリオンやエディット・ピアフ、クロード・ベルナル(実験医学研究序説の著者)、モジリアニの墓は興味深かったです。

こんな経験があつて、パリに行くたびに墓地を訪れるのが楽しみになりました。モンパルナス墓地に眠るメニエール(あのMènière病に名を残す)の墓にはMÈNIÈRE DE SCHACKENと記されていました。メニエール自身はアクサン(☉)の綴りを使っていたそうです。モンマルトル墓地に椿姫の墓

が実在しているのにはびっくりしました。小説やオペラの中の人物とばかり思っていたので。実際のモデル(23歳で結核のため亡くなった)が埋葬されました。パリの墓地巡りの楽しさは尽きません。

秋田で興味深い墓は小田野直武のもので。解体新書の挿絵を担当して、日本文化史に燦然たる人ですが、角館の松庵寺にある墓は小さく、貧弱で、寺の門の近くにある記念碑の立派さと比べて釣り合わず、その身に起こった事態をさまざまに想像できます。

ヘルシンキにある無名戦士の多数の墓はマンネルヘイム元帥を取り囲むように並んでいて、ナチスドイツとソ連から祖国を



画集 2



画集 1





黄泉へ導くひまわりの道  
(潟上市ブルーメッセ)

守った勇気を伝え、「そういう  
あなたはどうか生きるのですか」  
と問うてきます。

サンクト・ペテルブルクの墓  
地も興味深いです。

ネフスキー通り（ゴゴリに  
同名の短編があります）を中心  
街から離れる方向に歩いてし  
ばらく行き、モスクワ駅を越える  
と右手にアレクサンドル・ネフ  
スキー修道院があり、その墓地  
にはドストエフスキーをはじめ  
めチャイコフスキーやリムス  
キー・コルサコフなどの錚々た  
るロシアの芸術家200名近く  
が眠っています。壮観です。



志田選手応援の幟(23頁参照)

因みにサンクト・ペテルブル  
クで活躍し、37歳で決闘に倒れ  
たロシア国民文学の父、プーシ  
キンの詩に『ファウストの一場  
面』があります。その中のメ  
フィストフェレスの言葉に「  
こうしてだれでも あくびをし  
ながら、生きてゆくので——そ  
してあなた方すべての 行くさ  
きにつめたい墓があくびをしな  
がら まっているのです。あなた  
もせいぜい あくびをなさつた  
ら」という箇所があります。  
と、ここまで書いてきて気付  
きました。自分は三男坊で先祖  
代々の墓には入れず、たとえあ  
くびをしながらでもいいので  
待っていてくれる墓もないとい  
うことに。



## 墓地を滑走！

小玉医院（潟上市）

小野塚 直也

この度、男鹿潟上南秋医師会  
の理事を拝命いたしました小玉  
医院院長の小野塚直也です。少  
しも医師会のお力となり地域  
医療に貢献できるように励みた  
いと思えます。何卒よろしくお  
願い申し上げます。

今回「お墓」というテーマを  
頂きました。この原稿を書いて  
いる月は8月なのでお墓と関係  
のあるお盆の時期なのですが、  
夏は子供のころから運動一色で  
したのでお墓参りをした記憶が  
ほとんどありません。そこでお  
墓にまつわる記憶を一生懸命掘  
り起こしてみました。

大学入学まで私は札幌市に住  
んでいました。自宅の窓からは  
藻岩山（札幌市のほぼ中央に位  
置する標高531mの山。山頂

からは札幌の街並みを一望でき  
る）が見え、麓から中腹までは  
ロープウェイが通っています。  
その対側斜面にはスキー場が広  
がっていて、冬の時期には毎週  
のようにスキーに行っていました。  
自宅から歩いて約30分で  
ロープウェイ駅（当時小学生は  
無料で乗ることができた）まで  
行きましたので、スキーを担ぎ  
リフトシーズン券とおにぎりを  
持てばお金を持たずにスキーが  
できる環境です。

毎週、朝から夕方までスキー  
を楽しんでいましたが、17時の  
下りロープウェイ最終便には確  
実に乗る必要がありました。乗  
り遅れてしまいますと対側に広  
がるゲレンデ下から歩いて帰ら  
なければならず（1度スキーを

担いで歩いて帰ったことがありますが2時間かかりました)かなり大変だったからです。とある日もいつものように17時まで間に合うべくスキーを楽しんでいましたが、リフト待ちの行列を見誤り(当時は1時間待つこともざらでした)最終ロープウェイに乗り損ねました。

この時、素直に帰るのであればゲレンデ下に降りることですが、実はもう1つの方法がありました。ロープウェイが通る真下の斜面(当時の通称は、北斜面)を滑って麓まで下りることです。しかしこれには2つの大きな問題がありました。1つは北斜面が滑走禁止であったことです。スキー場の係員や学校の先生(当時はそこを滑る生徒が少数ですが)いましたので、時々双眼鏡で監視していたような、いなかっただような…)に見つかるとこつてり絞られます。しかし幸いにも滑る時刻には日が暮れて闇に紛れるため、見つかるリスクは少なかったと思います



田沢湖スキー場の秋

非常に罰当たりなことではあります。小学生の時のことですので、読者の皆様にはご勘弁頂けましたら幸いです。

もう30年以上前のことになるが、アメリカに留学中、研究室に日本からさる大学の教授が突然、見学に来られたことがあった。決して親しい関係ではなく、留学先のボスがISHR(国際心臓研究学会)という学会を立ち上げた方で、その日本部会の学会で何度か顔を合わせたことがある程度の方だった。

私は留学する前後、この春、敬仁会松恵苑に來られた田村芳一先生や五城目町の千葉裕一先生たちと一緒に、心筋梗塞モデル犬での虚血時の心筋酸素分圧、二酸化炭素分圧、pH等を特殊なセンサーを植え込んで同時測定をする研究をしていた。詳細は忘れたがこの教授のグループも別の方法を使って心筋の酸素

(整備も圧雪もされていない急斜面を月明りのみで滑るリスクは多少ありますが)。

もう1つの問題がお墓です。山の麓には墓地があり、そこを通らないと麓の道路まで出られません。闇夜に墓地を通る怖い気持ちに打ち克ち、そしてスキーでお墓の間を滑る申し訳ない気持ちから心の中で「ごめんなさい」と謝りながら滑ったことが「お墓」の思い出としてよみがえりました。

濃度を解析する研究をされていて、秋田の我々の教室に何かの問い合わせをした折に私が留学しているのを知り、学会のついでに訪ねて來られたのだった。

もともと、彼には実は研究の話以外にもっと重要な目的があり、娘さんの通われるとあるミッション系大学創立者のお墓が私のいた街の公園墓地にあり、ご自身が父兄会だったか理事会だったかの役員をしていることもあり、今現在のお墓の様子を撮影して來ると公言していらしたようで、帰ったら皆にぜひ披露したいということだった。

街を一望の下に見渡すことができる公園の一角に墓地はあった。留学先から比較的近くだったので車でお連れして、創立何



## 知らなくてもいい秘密

藤原記念病院(潟上市)  
地域医療人材教育研修センター

齊藤 崇

十周年記念誌とかに載っていたという写真を手がかりに探したらずぐ見つかった。ところが、すごく立派なお墓は実は全く別の方のお墓であることがわかったのである。あれっということではお名前や没年を手がかりに必死に探して辿り着いたそのお墓は、名前だけを刻んだ墓銘碑が芝生に置かれ、そばに朽ちかけた十字架があるだけの最も質素なものであった。

よく考えてみれば、創立者というその方は私財をなげうって学校を建てた修道女だったというから、それに見合ったお墓という気がしなくてもいい。記念誌の写真は誤って撮られたか、あるいは意図的に替えられたのか。「私は知ってはいけない秘密を知ってしまったのかも



ミステリアスな鳥たち  
(イッタラ展・撮影可)

れない。」教授は悲壮な顔を一言もらされ、ため息をつかれた。「私は皆にどう報告すればいいのだろう」

身内や友人たちから「墓じま



## 新しいお墓

男鹿みなと市民病院（男鹿市）  
今野 則 和

い」や「生前墓」の話をよく聞くようになったが、テーマが「お墓の話」という原稿依頼に最初に思いついたのはこんなエピソードだった。

けなくなるのかも知れない。母は唇が切れていたため、ハンカチで出血部を押さえながら短時間で墓参りを済ませた。歯科医を受診し、母の前歯が欠けていたことを後日知った。

それはスローモーションのようだった。春のお彼岸の時期に、墓参りのため3人で雨上がりのお寺の境内にいた。私は父のお墓の前で母の歩く姿を見ていた。そのお墓はまだ新しくピカピカしており、墓石も現代風だった。母は、柄杓と桶を持ちながら歩いていった。そして躓いて前のめりに倒れた。両手がふさがれていたので、ほぼ受け身も取れずに顔から倒れた。

「あー、やってしまった」と心でつぶやいたが、とっさに体は

動かなかった。一緒に来ていた妻はすぐに母に駆け寄り体を起こしてくれた。少し遅れて私はその場へゆっくりと歩いて向かった。妻はなぜ早く助けに来ないかと憤慨していた。

なぜか落ち着いて様子を観察していた。母は口から血を流しながら、手足は動き、大きなけがはなさそうだった。その時私は身内というより、冷静な医療従事者として対応していたのかもしれない。薄情にも思えたが、人はビックリすると案外動

お墓参りで母がけがをする1年ほど前に父は亡くなった。コロナ禍で父に会えない間にどんな父の体力と気力は低下していった。医療従事者の私は殆ど父に会いに行けなかった。やっとなかた頃には父が握る手の力も弱々しく、私が帰る時にはこれが最後と悟ったのか涙していたのが思い出される。

父が亡くなった当時は私の子供の受験が重なったため、お葬式も含め目が回る忙しさだった。さらに問題だったのは、父のお墓をどうするか決めていなかった事だ。両親の生家も檀家になっていないお寺も実家から離れており、お墓参りするには遠すぎるため、母の意見で実家近くにお墓を探すことになった。



急なお墓探しだったが、ご近所さんや知人を頼り、両親と同居していた弟夫婦がなんとかお寺と墓地の選定をしてくれた。その後、仏具屋・石材店をまわり、仏壇や墓石も決めてくれた。新盆の時にその新しいお墓に父の遺骨を納めることができたのだ。

整形外科医という仕事柄、転んでけがをした方をよく診察する。墓参りの際に転んでけがをする人も少なからず診てきた。その患者さんたちを診察して、お彼岸やお盆が来た事を実感することもあった。考えてみれば、歩くには難儀な場所のお墓というものは案外とあるのかもしれない。お墓への道は、坂道であったり、平地でもいたるところに段差があったり、とても転びやすい場所かもしれない。高齢者のお墓参りは、運動機能が低下している事に加え、両手にお供え物や掃除道具を持っていく場合はバランスを崩しやすい。

く、転んでけがをしかねない。お墓掃除の際には狭く不安定な足元で作業したり、水をかけたすりすれば、やはり転びかねない。お墓参りは高齢者には非常



## 墓

杉山病院（潟上市）

肥田野 文夫

に危険な行為であるのかもしれない。身内にけが人が出て、しみじみと考えさせられた。皆さん、お墓参りはご注意ください。さい。

どこの家でもそうでしょうが祖母と母が不仲で、まだ小さい私の手を引き妹を背負って、線路の前で何度列車に飛び込もうとしたかを繰り返し聞かされ、子供心にも人は絶対分かりあえないものらしいと感じたの思い出しました。小学校入学前に母が家を出て50km離れた映画館の屋根裏に3人でしばらく暮らしていたというのを物心ついてから知りました。まもなく父も実家から移り住み、その北海道の田舎町が故郷です。

祖母の生家に先祖代々(?)のお墓があつて、毎年8月13日にお参りに出かけます。お寺の敷地でしたが墓石はなく、50cm四方くらいの木の下の空き地(というか隙間)に漬物石みたいなのが1つあつて、文字がかすれて読めない木の札が何本か立ててあり、わびしくみずばらしいのですが、いくばくか払ってお墓のようなものにしていただいましょう。母方のお墓も別の町にあつて、1度だけ行ったことがあり、没落して一家散り散



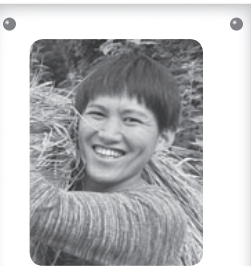
温心へ前号から読者へ  
感謝！ ありがとうございます。

りになったので訪れる人もなく草ぼうぼうで、墓石は盗まれたのか(北海道ですから)初めからなかったのかわからず、近くに倒れていた墓石を父と叔父が置いていました(さらに北海道のまあ、そんなことどうでもいいじゃないの、という風土です)。お寺の住職は立派な方で、内容はわからない法話に子供でも聞き入ってしまうお坊さまでした。ところが、跡継ぎというのが失礼ながらこの親の子かと思うような人で(親が偉いと思は大変なのかも)、そういう坊主は読経もお話も拙く、どうも信用できないと思っていました。前述の墓も立ち退きを迫られ、暗い地下の40cmぐらいの幅の仏壇に押し込まれ(しかも法外に高額な墓代)、死んだ後だ



弥助の冷かけ(つなぎは布海苔 西馬音内)

からまあいいようなもの、こんな風に扱われるのでは年一回のお墓参りも苦痛に堪えないものでした。父は昔の人で、先代からお世話になつてゐる義理があるので口に出しませんでしたが、死後、母も同じ思いだったので、一封をつけて頂いてねいにご縁を断ち切らせて頂くことにしました。代が替わつてから、寺の修理やら何周年のお布施やら、毎年のようにご請求があり「お宅の息子さんはお医者さまだからこのくらいは出して頂かないと…」であさましい方は徹底してあさましいものではない(笑)。



### 熱海の実家を手放した話

湖東厚生病院(八郎潟町)

漆畑 宗介

等地に念願の墓石が建ち、おおらかな土地柄は墓碑銘が「代々の墓」ではなく、「いつもありがとう」「真心」「やすらかに」「静かさや：」「静穏」「絆」「永遠」とか有名な人の俳句や短歌など墓とは思われない好き勝手な字句が並んでいます。私は常識的なものでもちろん「肥田野家代々の墓」で、今は祖母、父も叔父もそこに眠つており、100歳

の母もこれで安心して死ぬる、といいながらもまだまだ文句たらたらの悩みながらも命は続きます。人生百年時代とは何なのでしよう。医大生の中から「この世にこんなきれいな人がいるのか!？」と憧れ続けた女性(残念ながら既婚)の訃報を耳にしました。だから、そろそろ私にもお迎えが来るかもしれません。

今回のテーマはお墓という事ですが、私は最近実家の事で大きな変化がありましたので、その話を書こうと思います。もともと私は静岡県の熱海市出身で、父方の祖父、両親、弟と6人で暮らしていました。生まれ育つた実家は40年ほど前

に父が購入したところで、広い庭に自宅とレストランがある少し変わった家です。熱海市の中心部から離れ、歩けば駅から40分。バスも1時間に1本あるかないか。買い物も通学も車が必要な不便な場所ですが、木々に囲まれ、庭も広く、目の



ブルーメッセの向日葵(潟上市・8月16日)

前に太平洋が広がる実家です。年が明ければ梅が咲き、3月頃には桜、5月にツツジ。夏にはサルスベリ、秋には金木犀が良い香りをさせていました。またオタマジャクシ、ヤゴ、クワガタやカブトムシがいたり、タケノコや夏みかん、枇杷が穫れたりもしました。そんな実家ですが、私は大学進学を機に秋田へ、弟も進学をきっかけに離れてからは両親と祖父、番犬2匹の暮らしに



なっていました。そして大学生活を通してすっかり秋田が気に入ってしまった私はなかなか実家に帰らなくなっていました。こちらでは関東に子供が出て行って戻って来ない話をよく聞きますが、その反対ですね。


そうこうしている間に両親も歳を重ね、広い庭も管理が大変となり、コロナ禍でレストランの売り上げも減少。最近はずがよく来るようになってしまい、とうとう実家を手放す事となりました。

お墓もそうですが、実家の土地も相続について話題にあがりますよね。特に秋田で働いていると、先祖代々の土地を守るという住民の意識がとても強いと感じます。私も長男なので実家を継ぐという事を全く考えていなかった訳ではありませんが、地元で働くイメージが湧かず、レストランを継ぐことも出来ません。遠方から管理するにも広すぎて…。振り返れば良い思い出も多く、残念ではありますが、

両親が頑張って住み続け、亡くなつてからドタバタと片付けに追われるよりは、元気なうちに実家を整理できたのは良かったかも、と今は思っています。

実家を受け継ぐ事は出来ませんでした。が、せめて思い出に残したいと5月に家族で集まり、五城目町出身で映像制作の仕事をしている方に依頼し「思い出ムービー」を作ってもらいました。1歳になった息子、2歳

の姪っ子も一緒です。映像を見るとやはり自然が豊かで、穏やかな時間を過ごせる実家です。無くなってしまうましたが、自分の子供をどんな環境で育てたいかと思うとやっぱり似たような場所を考えてしまうのが不思議ですね。子供たちが大きくなった時に、映像を見ながら思い出話ができれば、と思っています。育ててもらって、本当にありがとうございました。



**お墓との長〜いお付き合い**

藤原記念病院（潟上市）  
吉成 ひろ子

今回の趣旨から外れるかもしれませんが、私のお墓との付き合いは生まれた当時までさかのぼります。トータル何年（？）か内緒ですが、私の実家は盛岡市北山という地区にあり、寺院群の中で生まれ育ちました。

大きなお寺の参道の片側に住居が並び、その中の1軒が実家で、向かいには別のお寺と墓地でした。私が子供のころに向かいの墓地の木が伐採され、広々として見晴らしがよく絶好の遊び場でした。もちろん墓石が倒れ



西馬音内盆踊り（8月18日）

てきたら危ないから入らないように注意されていましたが、かくれんぼや鬼ごっこをするには絶好の場所で、近所の子供たちの遊び場になっていました。自宅の周りが墓地だったという、幽霊を見たことがある？とか怪奇現象にあった経験があるでしょうと言われますが、我慢ではなくまったくありません

ん。よく見える人、見えない人  
といいますが、私は全く見えな  
い人で、霊感は無いと思われま  
す。怖い思いをしたことは1度  
もありません。それどころか自  
宅前は1月にお参り(?)があ  
り、参道の両側に縁日のお店が  
並び、夜には裸参りが行われて  
いました。綿あめやたぐり飴、  
大判焼き、おもちゃのお店など  
子供の頃の私にとっては年に1  
度の楽しみでした。突き当りの  
お寺には保育園があり、そのの  
園庭にプレハブの小屋が建てら  
れお蕎麦や甘酒がふるまわれま  
した。今考えても楽しかった思  
い出しかありません。

実家の両親は別の場所に先祖  
代々のお墓があったのですが、  
父が亡くなった時に突き当りの  
お寺の墓地にお墓を建てて、今  
は祖母や祖父、母も一緒に眠っ  
ています。実家は姉夫婦が住ん  
でくれているため、帰省してお  
墓参りに行くのに徒歩3分、法  
事の時も歩いて行けます。

秋田に住んでいるため、コロ

ナが流行した最初の期間は岩手  
に行くこともはばかられたので  
すが(岩手は最後まで感染者が  
出ていなかった)今は帰省  
すればすぐにお墓参りに行くこ  
とができます。姉の子供たちが  
盛岡にいたため、取りあえず私  
たちの代では実家のお墓の心配  
はしなくてもよさそうです。

さて自分のお墓ですが、一番  
は子供たちに負担がかからない  
ようにしたいと思っています。  
先祖代々の立派なお墓があるの  
ですが、秋田市内ではないため  
最近ではそろってお墓参りに行  
くことはなくなり、夫と予定が  
合う時に行ってくるような感じ  
です。現代では樹木葬や散骨が  
増えていると聞きますが、それ  
も実行するのはかえって大変だ  
ろうなと思います。ある程度は  
自分でも準備しておこうと考え  
ていて、まずは今のうちに遺影  
用の写真を撮っておこうかな  
と思っっています。何歳の写真で  
も許されるでしょうか? 修正  
はどこまでして良いのかな?



## 食育

### 生き物の命を頂く

男鹿みなと市民病院(男鹿市)

秋元正年

当院にはだいぶ前から県外出  
身の学生や研修医が実習にやっ  
て来る。大学へ入学するまで、  
そして卒業してからの大部分の  
時間を秋田県で過ごした私は、  
彼らにこの地域のあれこれを紹  
介する立場になった。その「あ  
れこれ」に食生活も含まれる。  
大半は「飲みニケーション」と  
いって支障ないかもしれない。  
その中で、ほぼいつも話してい  
ることを紹介したい。

私が小学校低学年だったある  
秋の日、自宅に父の仲間が集ま  
ることになり、昼前からさまざ  
まな食材、木炭、バーベキュー  
コンロが準備された。車庫には  
知人が食用に飼っていた鶏が、  
首から上を出した状態で紙の米  
袋に入れられていた。これから



キリタンポ

何をされるのだろうかと不安そ  
うな目つきである。私はどんな  
ものを食べるのか分からないま  
ま、親に言われるがまま作業に  
加わった。母や他の大人が仕込  
んだ大量の白飯の横にすりこぎ  
棒と串が準備されている。私や  
姉、同年代の面々へ「おめたち、  
これをすりつぶして串にぬりつ  
ける」と言われるがまま作業す  
るその横には木炭で火を起こさ  
れたバーベキューコンロ。そこ

へ言われるがまま白飯を塗りつけた串を立てて炙った。

その作業が一区切り着いたところへ父が一言「あまり見ることのないことやっているから外へ出てみる」。そこには先ほど車庫で見た、米袋に入れられた鶏が首を落とされ、当時の私の背丈より高い脚立の上からロープで足を縛られて吊され、血を流していた。独特の臭いが漂うその現場で、近い年頃の面々は、為されていたことをあらかた飲み込んで、目を背けていた。合掌する人もいた。何も知らないまま、でも、そばにいた



西馬音内盆踊り（この人、著者か？）

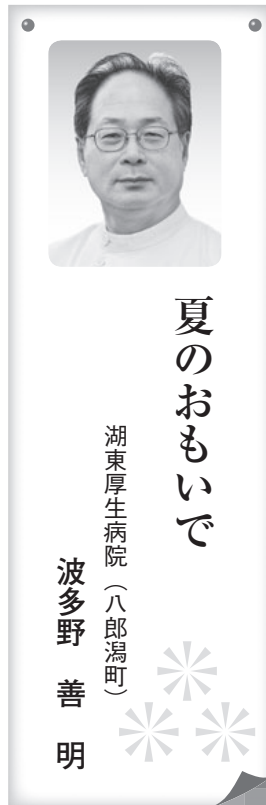
人をまねて私も手を合わせた。

バーベキューコンロに立ててあつた串が外側に焦げ目をつけて仕上がった。それを下ろし、白飯をはがす。しばらく経ってから父は「おめたち、腹が空いてきたべ。これさ塩かけてしゃぶれ。ハーモニカだ」。出てきたものにはうつつすらと湯気の上がつた独特の骨格にうつつすらと肉片がついていた。香ばしい匂いがありそれなりの味がした。「脚立に吊されていた鶏が、とうとうこうなったのだ」と思いながらしゃぶっている台所から野菜、醤油、白飯と鶏の脂が交じった、前に食べたときのよくな鍋の匂いが漂ってきた。

仕上がったのは、それまでも何度か食べていたはずのきりたんぼ鍋。さまざまな手を加えられ入り交じって、その過程を経たものを味わっていることを思い知らされた。件の鶏が骨までしゃぶられた後どうなったかは知らない。墓が作られることにはならなかったはずだが、代わ

りにその席にいた全員が合掌してさまざまなものへ感謝の気持ちを込め「頂きます」と残さずお腹に納め、最後は「ごちそうさまでした」。

今は小中学校で「食育」と称



## 夏のおもいで

湖東厚生病院（八郎潟町）  
波多野 善明

して食べ物の勉強をすることがあるようだが、私たちがさまざまな生き物の命を頂いていることを教えるのが、食育の骨格だと思う。きりたんぼ鍋は私にとっての「食育」授業だった。

今年も暑い日が続いていきます。この時期には子供たちの夏休みと故郷への帰省、甲子園の高校野球など「夏の風物詩」がたくさんありますが、かつて自分が夏休みをすごした幼い頃は、友達と野山を駆け巡って存分に遊び、昼の暑さも夕立も、夜の涼しさも心地よく夏のすべてを満喫していたように思います。

私は新潟県新発田市出身で、大学入学を機に秋田に住むよう

になってからは年に数回しか新潟へ帰省することができなくなり、お墓参りを主な目的とした夏の帰省は貴重な機会となりました。幼い頃に一緒に遊んだ親戚やいとこの再会は楽しみで、それぞれの元気な姿を確かめて昔を懐かしく思ったりもします。お互いの家族が増えて皆と顔をあわせることは難しくなっています。今でもお墓参りは年賀状では果たせない我が家では大事な行事となっています。



父が健在だった頃の私の墓参りは、自分の帰省時に墓所の掃除も済み、私は家族とともにお墓に掌を合わせるだけでした。正直なところ当時の自分はまだ「墓を守る」という自覚・実感が希薄だったように思います。

父も高齢となり、お盆前のお墓掃除を父のかわりに私たち夫婦と娘2人の4人がするようになりました。と言っても父から「墓掃除を頼む」と言われたわけではありません。私は長男で妻も長女ですが、「次に墓掃除（墓守り）をするのは自分たち」といういわば「宿命」をなんとなく感じていたのだと思います。長男・長女が墓を、祭祀財産を相続するという決まりはないようですが、初めて「墓掃除の主役になる」と決めた時も妻に当然のこのように話し、妻にも迷いはありませんでした。

実家のお墓は4基あり、周囲の雑草取りや落ち葉掃除も必要です。時には植栽に蜂の巣があることもあります。それらを取

り除き、墓石に水をかけ、汗だくになって布巾やブラシで墓石を磨き、新しいお花とお水をお供えして掌を合わせて父と母、先祖を偲びます。私は大学生の時に母（つまり父の妻）を亡くしましたが、その後祖父母を見送ってからも主に1人で墓掃除をして墓を守っていた父の姿を思い出します。私たち以上に墓掃除は大変だったと思います。が、お菓子を買い、花火と「盆玉」（お盆に渡すお小遣い）を準備して2人の娘（孫）を可愛がり、私たち家族4人の帰省を心待ちにしてくれていました。

真夏の新潟の炎天下でのお墓掃除は大量の汗をかきます。土埃にまみれ、頭から水をかぶつたようなずぶ濡れ状態になるため、掃除を済ませると近くの日帰り温泉で汗を流し昼寝をするのが我が家の墓掃除の習慣となつていますが、「墓を守っている」という達成感もあり格別な爽快感があります。私にも家族にも大変な墓掃除に楽しみを加え、これからも継続してゆक्तめのお駄賃です。

墓にまつわる色々な問題もあります。世間では年々お墓参りをする人が減少し、特にコロナ禍で故郷への帰省ができなかった数年間にはお墓を掃除してくれる「お墓まいり代行サービス」への依頼が増加したとのこと。墓石の材料がなくなるなど（あくまで想像です）、これまで考



囃し方が陣取る櫓（やぐら）  
（西馬音内盆踊り会館2階せり出し舞台）



眠ってしまった子を抱いて、それでも踊る



## 墓穴を掘り続けて70有余年

ハートインクリニック(潟上市)

佐々木 康雄

トラは死んで皮を残す。私は死んで墓を残すか、どうか。人口減著しい秋田では深刻な問題である。ある80代女性は「嫁に来て夫の先祖代々の墓に入るつもりでいたけど、東京にいる子供たちは墓じまいを口にする」と苦笑した。故郷を離れ医療に勤しむ医師たちも例外ではあるまい。医院継承を断念した某先生は「医者は死んで患者を残すか」とため息をつく。

昨年11月、兵庫の城崎温泉へ向かう途中、25年前に当院を設計し、13年前に亡くなった神戸の建築家宅を訪ねた。墓参りしたいという私にご家族は「白神山地と一緒に散骨したでしょう。遺言で墓はありません」――奥様が鶏卵大の紙粘土に彩色した「雲」に遺灰を入れて散骨し

たのだった。居間の小さな祭壇に柿が5個供えられていた。

20年ほど前、鳥海山の麓の海に散骨してほしいと遺言して死んだ男がいた。東京の業者に依頼した家族は酒田港を出た船から小砂川沖に散骨し手間も金もかかったという。海でも山でも散骨は人目を避け花も添えないルールである。「厄介なのは、お盆や命日に小砂川へ行かないと気がすまないこと。潟上からだと遠くて」と妻はぼやく。

昨年歿した新潟の従弟は海に近い樹木葬墓地に眠る。1000坪程の芝地に植木が数本、花と線香のみ許された献花台で拝む。埋葬時に家族の立ち合いは禁止で、「夫の隣に私も、という訳にはいかない」と奥さんはいふ。秋田市で人気の平和公園

合葬墓も埋葬後の改葬や分骨、返還はしない約束だそうだ。

唐の8世紀。玄宗皇帝は信頼の将・安祿山に反旗を翻され、寵愛していた楊貴妃が乱の原因だとして佞臣らは30代半ばの妃を殺害した。ところがどっこい、実は遣唐使船が難破を繰り返す危険な海を楊貴妃は小舟で日本へ逃れ、今の長門市に漂着した。長門の二尊院に墓と五輪塔が現存する。

同時期、聖武天皇の招請をうけ、正しい仏教戒律をもたらしべく鑑真和尚は5回の難破で視力を失い6回目でやっと渡日した。奈良の唐招提寺に小さな森のような墓がある。苔庭と池に囲まれた静かな佇まい。私もこんなお墓に……とあってふと小学生だった長女の言葉が蘇った。

秋田市臨海道路脇の石材店にあった宣伝用の巨大張りぼて墓石を指さし「おとん、死んだらあのお墓を買ってあげる！」

だが30歳を超えたその娘は他家へ嫁ぎ、下の子3人も首都圏から戻る気配がない。私の実家

は弟が継ぎ、1人っ子の家内も立場は実家の墓守。潟上に自分の墓を新造してもいづれ無縁仏になろう。思えば若い頃から墓穴を掘り続けるの人生だった。古希をとうに過ぎた発達障害は苦手な身辺整理も道半ば。輪廻転生とはいえこんな人生の再現は御免である。

子がなく、先立った妻の遺骨と暮らす友人は、上新城の多用途民泊施設『みんなの実家』の裏山に合葬墓『みんなのお墓』はどうかと誘う。鑑真さんのお墓に未練はあるし、いつまでもその辺をふわふわしている訳にもいくまいし、墓穴をもう少し深く掘っておくしかないか。



樹木葬墓地(新潟市西区・6月23日)

# 会長レター

30

## 盆も暮れも

佐々木医院（潟上市）

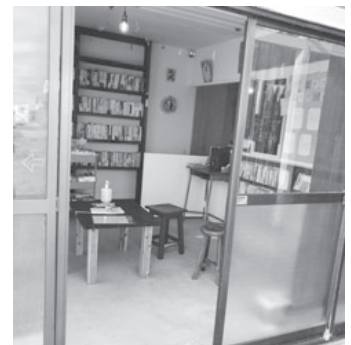
佐々木 範明



いるようです。首都圏ではこうなってしまうのでしょうか。秋田県は墓参り率が全国でも高いそうで、ご先祖様は安心？

東京銀座で歯科を開業している親戚から、お見舞いメールがきました。

「台風5号大変でなかったですか？ 天気予報ではかなり大変そうですね。台風は被害が無いことを祈っています。ところで、昨日の朝刊で、秋田県潟上市の出戸に素敵な本屋さんがあったと紹介されていました。海水浴場の古い空き店舗を改装したのだそうですね。近かったら1度は行ってみたい本屋さんです。地元ではどんな評価なのでしょうか？」



出戸本屋

さて、先程も話に出てきたケンシンですが、最近ジュンベリーの味を覚えてしまいました。お散歩の途中で私がジュンベリーを摘んでいる横で、ケンシンは枝に実った美味しいところをパク！ 口が届くところはドンドン食べて夏バテ防止（？）写真ではよく分からないかも知れませんが、白い鹿が木の実を食べているみたいです。

今年の正月には能登地震、お盆の前に南海トラフ大地震の前触れかという日向灘の地震、そして東北地方には台風5・6・7号の3連発。子吉川水系では氾濫が起こり今年も大きな水害が発生しました。人々が実家や故郷に帰る時期にこうして災害が起るのは、ご先祖様たちのご機嫌が悪いのかと思ひ、お盆前の墓の掃除に出かけました。

地に着いてびっくりしたのは、雑草がほとんど無く、ここは火星かと思うような殺伐とした景色でした。市が委託した業者さんが清掃をしてくれたのでしよう。草取りがなかった分、墓の手入れは楽でこうしたサポーターが無いと墓の管理は大変です。当家の墓にはまだ父しか入っていません。今年13回忌です。父は男3人兄弟の末っ子でしたから、昭和29年にここに居住してから骨はこの地に埋めるつもりだったのでしよう。旧昭和町で墓地分譲をしたときにすぐここを購入したと聞いています。本家の墓は東京多摩霊園にあります。今はもう誰も花を手向けることのない墓になって

皆さん、知っていましたか？

私はこの本屋の事は知らなかったのにお盆過ぎの天気の良い日に様子を見に行きました。写真をアップします。秋になって海水浴客が居なくなった頃に行きたい本屋さんでした。



ケンシン



# 男鹿潟上南秋医師会定例総会

令和6年6月8日(土) 午後4時 〈ブルームッセあきた研修室〉



5年度会務と事業報告、一般会計収支・監査報告、6年度事業計画案、会計案、会費賦課徴収規定案、会員業務分担案および秋田県医師会やその他の各種委員について全て了承された。役員改選について、定数と同数の立候補者のため選挙は行わず以下の如く承認された。

会長・佐々木範明、副会長・白山公幸、  
香曾我部秀雄

理事・田村広美、斉藤晴樹、吉田賢志、  
関仁史、畠智明、波多野善明、越川智  
康、成田裕一郎、猪俣良之、木村圭介、  
今野則和、小野塚直也

藤原慶正・前理事および前県医理事は  
日医常任理事に就任

監事・千葉裕一、神田仁

議長・佐々木康雄、副議長・児玉光

裁定委員・杉山和、浅利正雄・長谷川

幸弘、坪井純、下間信彦

秋田県医師会理事・田村広美

県医代議員・佐々木範明、白山、香曾

我部 予備代議員・千葉裕一、児玉光、

下間信彦 県医裁定委員・坪井純 医

療と福祉を考える集い担当・神田仁

退会会員・鹿嶋秋五、小玉敏央、栗林

邦明、円山もも子

入会会員・阿部ゆき、柏倉剛(藤原記

念病院)、高橋淳(杉山病院)、鈴木寿

明、柴田暢介(男鹿みなと市民病院)、

越川静和(男鹿加藤診療所)、田村芳

一(松恵苑)

現在の会員数80名(開業会員27名、  
勤務A7名、B44名、敬老2名)

## 理事會

7月30日(火) 午後7時  
ブルームッセ昭和(潟上市)

新理事の今野会員と木村会員  
(男鹿みなと市民病院)、小野塚  
会員(小玉医院)が初出席。範  
明会長から郡市会長会議報告。  
秋田県在宅医療支援センターへ  
の協力、風水害対応タイムライ  
ン作成、非会員も含む性教育担  
当講師バンクの発足等について。

中央医学講座。10月12日、会  
場はメトロポリタンホテル。今  
回は主催が男鹿潟上南秋医師  
会。万難を排して出席すべし。

県南の某病院で起こった安定  
剤盗難事件の調査時、病院職員  
が同院で診察後に受け取る処方  
薬を調剤薬局の職員が病院の事  
務室へ届け、薬剤師による薬剤  
説明を受けてないことが発覚し  
問題となった。

他、日医が進めている「かか  
りつけ医」の研修と資格問題に  
ついてなど、あれこれ厄介事が  
増えるばかり…。

# 生涯教育講座

## 「最近の心不全薬物治療」



秋田厚生医療センター 循環器内科

診療部長 松岡 悟 先生

日時▼令和6年6月20日

場所▼ZOOMを介したオンライン講演会

心不全とは、「心臓の構造的なあるいは機能的な異常による症状や徴候」があり、かつ「ナトリウム利尿ペプチドの上昇」あるいは「心臓由来の肺うっ血または体うっ血を示す検査所見」がある状態をいう。

心不全には2つの分類がある。1つは進行度を示すステージ分類(A↓B↓C↓Dの4段階)であり、もう1つは左室駆出率(LVEF)による分類で

ある。ステージ分類だが、ステージAは症状・徴候はなく、構造・機能の異常もなくリスクのみの状態であり、ステージBは症状・徴候はないが、構造の異常・機能の異常がありBNP 35 pg/ml以上の状態である。ステージCは心不全の症状・徴候があり、構造・機能の異常がある状態で、ステージDは心不全の症状・徴候があり、構造・機能の異常があつて、かつ標準治



土崎港祭り (7月20日)

療で治療が難しくなった治療抵抗性の状態である。ステージBを前心不全として捉え、そこで十分な対応を取ってステージCに行かないようにしようというのが最近、重視されているところである。左室駆出率による分類では、心エコーでの左室駆出率の算出が必須であり、左室駆出率の低下(LVEF40%以下)した心不全(HFrEF)と左室駆出率の保たれた(LVEF50%以上)心不全(HFpEF)と左室駆出率の保たれた(LVEF41~49%)心不全(HFmrEF)に分類される。左室駆出率の保たれた心不全が45・1%と最も多い。

ステージCへの対応として、ガイドラインに基づいた標準治療(GDMT)をしましょうという流れになっている。これは心臓を守る薬の標準的な組み合わせということになる。HFrEFに対する従来の標準治療はアンジオテンシン変換酵素(ACE)阻害薬またはアンジオテンシンII受容体拮抗薬(ARB)、β遮断薬、ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬(MRA)の3剤併用だったが、新たな標準治療としてβ遮断薬とMRAの2剤に加え、アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬(ARNI)とSGLT-2阻害薬を加えた4剤併用が提唱されファントラストイク・フォーと呼ばれる。その際、SGLT-2阻害薬は早めに始める。また、ACE阻害薬/ARBからARNIへは早めに切り替える。

ループ利尿薬は、急性期には十分な量の投与が必要だが、長期予後改善に寄与しないことが

分かっており、慢性期には必要最低量にとどめる。HFrEFの治療指針はHFREFに準ずる。HFPEFの治療指針は利尿薬とSGLT-2阻害薬で治療する。

BNP 35 pg/ml以上で基礎疾患を調べる必要があり、精査または循環器専門医に紹介をする。BNP 100 pg/ml以上では治療が必要な可能性があり、早めに心エコーによる左室駆出率の算出を行う。BNP 200 pg/ml以上ではすぐに治療が必要な場合が多いので、標準治療の導入も含めてすぐに紹介して欲しい。腎機能低下、高齢者、急性炎症、貧血でBNPは上昇し、肥満でBNPは低下するので、心不全評価の場合は注意が必要である。

最後に、ACE阻害薬・ARBと利尿薬を飲んでいる人にNSAIDsを投与すると急性腎障害(AKI)発症率が1.82倍に上がるので注意が必要である。

## 「肥満症と2型糖尿病の治療と合併症予防のトピックス」



秋田大学大学院医学系研究科  
代謝・内分泌内科学講座、糖尿病・  
内分泌内科

教授 脇 裕典 先生

日時▼令和6年7月31日  
場所▼ZOOMを介したオンライン講演会

約100年前にインスリンが発見されて以来、糖尿病薬も次々と発見された。特に1990年代以降に治療薬が進歩して治療の選択肢が増え、同時期に糖尿病の様々なエピソードが生まれてきた。

当時の従来型治療群と強化療法群を比較すると、治療強化群で合併症を減らすことが出来た。また、初期に従来型治療を行い、途中から強化療法を行った群と、初期から強化療法を行った群を比較すると、初期から強化療法を行った群で合併症

を予防する効果が早く出て、しかもその効果は持続した。治療するのであれば出来るだけ早期にきちんと治療することが非常に大事であることが示された。

またSGLT-2阻害薬やGLP-1受容体作動薬、非ステロイド型ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬(MRA)が心血管疾患、腎疾患の予後を改善するという研究がここ10年で次々に発表され、心疾患、腎疾患の合併症を意識した治療を目指すことが重要視されるようになってきた。

もともと日本人は欧米人に比べてインスリン分泌能が低いと言われているが、インスリン分泌系であるインクレチン関連薬は日本人で使いやすい。最近のゲノム研究で、GLP-1受容体遺伝子領域のシグナルが日本人2型糖尿病に特異的であることが、インクレチン関連薬が日本人で使いやすい理由の1つではないかと示されている。

2型糖尿病の薬物療法の新しいアルゴリズムは、インスリンの絶対的・相対的適応があればインスリン治療を行い、そうでなければインスリン分泌不全を想定した非肥満と、インスリン抵抗性を想定した肥満の2つに



鷹巣綴子の太鼓 (7月15日)



分類して、それぞれの病態にあった薬剤を、日本での処方実態も考慮したうえで推奨順に並べられている。また、安全性への配慮や併存疾患に対する追加の効果、考慮すべき患者背景なども検討して、おおよそ3か月ごとに治療法の再評価と修正を検討することを推奨している。

東北地方は肥満が多い。肥満のなりたちには、(1) 遺伝的な要素、(2) 環境的な要素、(3) 社会的な要素が関わっているが、個人の努力で変えられる部分と変えられない部分がある。

肥満の治療には、食事療法、運動療法、行動療法・食行動の変容、薬物療法、外科療法がある。肥満症の適応が承認された薬が新たに2剤増えた。1つはGLP-1受容体作動薬の注射剤で、厳格なプログラムのものと、秋田大学医学部附属病院では肥満症外来を開設して治療を行っている。もう1つはOTC医薬品で、薬剤師がいる薬局・

薬店でのみ販売されていて、肥満症の新規発症予防としてセルフレディケーションの薬剤として位置付けられている。手術には、腹腔鏡下スリーブ状胃切除術があり、強力な治療法であるが、適応が厳密である。

日本人では、心血管イベントの発症は欧米と比較して少ないが、腎代替療法に至る腎イベントの発生が比較的多い。そのため日本糖尿病学会、日本糖尿病協会、日本医師会、厚生労働省が一緒になって糖尿病腎症重症化予防プログラムというものを推し進めている。

様々な年齢、肥満度、合併症併存症をもつ患者にどのような治療法を届けるか、糖尿病・肥満症の診療医としての力量が問われている。



文責・吉田賢志記者

## 新入会員



### 何年目になっても 気分は新人

藤原記念病院（潟上市）  
近藤 克幸

みなさま、はじめまして。本年7月から藤原記念病院に勤めている近藤克幸です。こちらの病院には初めてお世話になりましたので、簡単に自己紹介をさせていただきます。

しびれが残って手術が厳しくなつてからは、医療情報の仕事を中心に働いてきました。

私はもともと秋田生まれの秋田育ちで、高校生の頃に地域医療を志して秋田大学医学部に入学しました。大学時代はへき地医療のサークル活動をしていました。途中で心臓血管外科の手術に興味を持ち、卒業後はしばらく心臓血管外科で仕事をしていました。が、30代半ば、ひよんなことから医療情報の仕事にも関わるようになりました。その後、頸椎ヘルニアで入院し、手に

医療情報の仕事は新しいシステムや仕組みを創る面白さがあった一方、マネジメント系の仕事が多くなり、患者さんや診察時間がどんどん減っていくことにジレンマを感じていたら、あつという間に50代半ばになり、定年までの最後10年くらいは最初に考えたことをしてみたい



仕事も趣味もより遠くへ  
(田沢湖)

たくなつたので大学を辞め、岩手県のへき地診療所である衣川診療所に2021年10月に赴任しました。初めての県外でしたが、自分は人生の一大事ほど思い立ったら勢いで動いてしまうらしく、当時ネットで募集していたへき地診療所がそこだけだったので、あつという間に話を決めてしまいました。

いざ、行ってみたものの、知人もおらず土地勘もなく、コロナ禍だったので地域のドクターと顔を合わせる機会もなく、患者さんの紹介のときなどはやりにくさも感じながらのスタートでした。とは言え、診療所のスタッフや住民は温かい人ばかりで、みんなで医師公舎の庭に畑を作ってくれたり、自然に囲まれながら住民の方々ととても近い距離で仕事ができたのとても良い経験でした。

趣味はドライブです。若い頃は休みに全国を走り回り、自分でまだ走ったことのない都道府県は鳥根、鳥取、和歌山、奈良

の4県だけです。コンピュータを専門にしていたくせに車に任せっきりで運転するのはイヤで、いまだにマニュアルミツシオン車で走っています。

秋田生まれとは言え、初めての地域で分らないことばかりです。いろいろと御指導いただきけると嬉しく思います。これからよろしくお願い致します。

## 新入会員



### 仕事にも育児にも麻雀にも励んでいます！

男鹿みなと市民病院（男鹿市）

加澤 隆 康

今年度から男鹿みなと市民病院でお世話になっております加

なればと感じております。

澤隆康と申します。出身は秋田市で2011年に秋田北高校を卒業し同年、自治医科大学へ入学、17年卒の現在医師8年目です。18年に秋田大学循環器内科へ入局し、北秋田市民病院、羽後病院、大学病院などで勤務し内科専門医、循環器内科専門医を取得しました。とは言えまだ名ばかりであり、今後とも諸先生方の力をお借りし、時にはご迷惑もかけながら精進していか

専門領域は循環器内科ではありますが、心不全末期の患者様との診療を通じて、「手遅れの状態ではできないことも限られる。手遅れにならないための医療が必要だ」と強く感じるようになりました。その実現のためには地域で総合診療を担う我々が重要な役割を担っているのだと考え日々努力しております。心不全や虚血性心疾患、一部の悪性腫瘍などいわゆる生活習

慣病に端を発していることが多い、専門医への紹介やアクセスが必ずしも容易ではない地域医療においては、致死的な疾患を未然に防ぐ予防医療が重要と考え、未熟ながらも日々意識して実践しているところです。

現在1歳の息子がおり育児に苦戦中です。産まれた時の状態はあまり良いものではなかったのですが、その後は無事に育つことができ、今では素早い動きに翻弄される日々です。息子が元気にこうしていられるのも産婦人科や小児科の先生方ならびに診療に携わって頂いた全てのスタッフ様のおかげと感謝しております。医療の重要性を再確認すると同時に、私もそのように感謝されるような存在でありたいと思いい層努力したいと感じるようになりました。

趣味は麻雀です。自治医大を卒業後、学友たちとは離ればなれになりましたが、今でも毎年

夏休みを合わせて麻雀旅行をしています。去年は2泊3日の旅行で、何と計28時間対局しました。食事と仮眠と申し訳程度の観光以外ずっと麻雀でした。長時間座っていたため全身が痛くなり次からはNSAIDsや抗凝固薬を準備した方がよいかと冗談を言い合ったほどです。

麻雀はその時々と与えられた状況から最善の手を考え決断し実行するという点が、医療とも重なる部分があるのでと考えることがあります。医療は決断の連続だと感じることもあり、中には秒単位での重大な決断を迫られることもあります。勿論ボードゲームと同列に扱うつもりではなく、知識や文献に基づいた決断を瞬時に行えるように日々研鑽しております。

学べば学ぶほど深い学問だと感じる日々ですが、今後地域の患者様の支えになれるよう頑張りたいと思いますので、ご指導のほど何とぞよろしくお願い申し上げます。

## 私のおすすめ

### 難聴者たちが登場する作品の数々

男鹿みなと市民病院  
(男鹿市)

松本 敏江



私は映画やドラマを見るのが好きで、仕事柄、難聴の人物が登場する作品もよく見ます。それらは、健聴者にはわからない苦労や葛藤、彼らに対する健聴者の勘違いや社会の理不尽、家族愛や友情など、感動的あるいは勉強になる見ごたえのある作品が多いのです。ここではそれらのごく一部をご紹介します。まずは洋画『Coda あいのうた』(2022年)で仏映

画『エール!』のリメイク。

Codaとは、難聴者の家庭で1人だけ健聴者である子供のこと。主人公ルビーはアメリカのボストン近くの漁港の町で、聾である両親と兄(3人とも聾の俳優)と暮らす女子高生。歌の才能を見出されますが、毎朝父と兄と船で漁に行つてから登校する身で、家族は音楽がわからないし、遠い音楽学校への進学を諦めます。が、娘を愛する父は、なんとかしてその道を拓いてやろうとするのでした。

この作品はアカデミー賞作品賞、父役のトロイ・コッツァーが主演男優賞など3賞を獲得。母役のマリー・マトリンは1986年『愛は静けさの中に』ですでにオスカー女優です。

次は日本の作品『聲の形』。原作は大今良時作の傑作漫画。

2015年に全日本ろうあ連盟の監修で30分間の実写DVDが、翌年には京都アニメーション作で劇場版アニメが作られ、私はそれを見ました。

3歳の時に聾であることがわかった硝子。父はすべて母のせいにして離婚し、母は家計を支え祖母が育てますが、硝子は母が普通学校に通わせたとこころ、授業の足をひっぱるからとクラスで壮絶ないじめをうけ転校します。いじめの中心にいた将也は、その後逆に自分がいじめの標的になり、自分の間違いに気づき、心優しい硝子のために償いをしてから死のうと思ひ詰めます。書いていても辛いし理不尽なのですが、ちゃんと最後に救いも用意されています。また、これは世界各国で主に『A silent voice』という題で出版されており、ノベライズ(小説化)も舞台化もあります。

次はテレビドラマ。一昨年、川口春奈と目黒蓮の主演した『silent』。

シナリオブックが出版されてベストセラーになるなどヒットしました。高校を卒業するころに突然の病気で両耳の聴力が失われ中途失聴者になった目黒蓮



は、心を閉ざして、まだ聴こえていた時代の人間関係を恋人も含め全部切ってしまう。でも、何年も経って再び巡り逢った2人はやはり惹かれ合います。彼女は手話を勉強し、彼の親友役の鈴鹿央士は、主にスマホの音声変換機能（喋ったことが文字になる）を使って彼と会話していました。

文字数のためあとは簡単に。NHK『しずかちゃん』と『パパ』はCodaのしずか（吉岡里帆）と先天聾のパパ（鶴瓶師匠）の心温まるお話。テレビ朝日『星降る夜に』は全く屈託のない聲の青年北村匠海が爽やか。原作漫画連載中の『ひだまりが聴こえる』は実写2作とアニメ化。レンタルDVDや配信などで見られます。いかがでしょうか。



『Coda あいのうた』

## 今日の診察室から 60



介護老人保健施設  
たちね  
(男鹿市)

坪井 純

前回の田村広美先生が指名した鹿嶋秋五先生が退会されたので、急遽ピンチヒッターとして

編集長より寄稿を依頼された。私は医師になって49年目である。現在は普通の治療の対象となる骨粗鬆症であるが、私が医師になった約50年前はほとんど治療の対象になっていなかった。昭和54年頃にサーモトニンという週1回皮下注のカルシトニン製剤が発売された。我々は先輩を含めてどうせ効かないだろうと思って使い始めたが、予想に反して疼痛にたいして明らかな効果が認められたので使用

が継続された。当時は骨密度を測定できるわけがなく、脊椎の圧迫骨折の人が骨粗鬆症としての治療の対象であった。

その後40数年経過して、治療薬もどんどん開発され骨粗鬆症検診も行われるようになり、治療する人が激増した。そして骨形成促進作用及び骨吸収抑制の両方を有するイベニテイという薬が発売され、多用されるようになってきた。

問題は価格である。1か月に1回皮下注、1回に2シリンジの使用。薬価は1シリンジ約2万5千円、2シリンジで約5万円である。3割負担の人は最低1回に1万5千円、1割負担の高齢者であっても1回5千円を窓口で支払わなければならない。この薬は12か月しか使用できないので、3割負担の人は総額18万円の自己負担である。

私は医師になり整形外科をやっており、外



踊りと骨粗鬆症予防（西馬音内では草履で足元の砂をザザッと鳴らすのが女人…）

来でお金の話をほとんどしてなかった（外科や内科で抗がん剤、分子標的治療剤を使用する先生たちは頻回にやっていると思われるが）が、さすがにこれだけ高額になると話だけはしておかなければならない。実際これまで3割負担の人から薬が高すぎるので安い薬に変更してくれと言われ、変更した人が数人いた。このように高額な薬が保険採用になって（分子標的治療などはもっとはるかに高額であるが）問題になってきているのが、日本の国民皆保険制度である。私たちのような古い年代の人は知っているが、我々が子供の頃は、田舎では孫が手術をしなければいけないので、祖父が田んぼ1枚を売ったというよ

うな話をよく聞いた。今の若い人たちは信じられないだろう。現在の国民皆保険制度ができたのは昭和36年であり、以後現在に至るまで国民全員が恩恵を

こうむっている。薬や治療費の高騰により皆保険制度の危機が叫ばれている。しかし金持ちしかちんとした医療を受けられないアメリカ、がんになっても

数か月待たされるイギリスなどの先進国と比較しても、日本という国ははるかに恵まれた医療制度をもっている。このことを日本政府も医師会も、もつと

もつと国民に訴えてもいいと思われる。次回は男鹿みなど市民病院整形外科の柴田暢介先生にお願いいたします。

# ナイト キッツ

## 大人のかき氷

たむら船越クリニック (男鹿市)

田村 広美



車の窓を開けなくなったのはいつからだろう。昔は窓を開けて走っていた。

1988年、大学院生3年目。当時最先端だった遺伝子工学の技術を学んで来いということで大阪大学細胞工学センターに国内留学していた。大阪の夏はあの頃も暑かった。僕はエアコンのない秋田ナンバーのジムニー1300の窓全開で走っていた。他に窓を開けて走っている車はほとんど見たことがない(ついでに東北ナンバーの車も見なかった。1年間でたった1度、山形ナンバーの車とすれ違ったときは「おやお互いに頑張ろうな」と勝手に同志の気分になった)。たまに酒屋の配達のおっちゃんが軽トラの窓を開け片手運転でただるそうに走らせていた。クリスマスが近くなった頃、

同じ研究室に東京の大学から国内留学で来ていた2つ年上の女子に乗せてくれと言われたときも窓を開けたままだった。不倫相手の講師を駅に迎えに行くために綺麗にした髪をおさえながら彼女は、「秋田の人は寒くないの?」と呆れていた。エアコンがついた車に乗るようになってもしかたは窓を開けていることが多かった気がする。もちろん風、タイヤ、エンジンの音はひどく(僕の車は、ジムニーやジープ、ディーゼル車だったりしたので本当にうるさい)、カーラジオもカセットも聞こえなくなっただけあまり気にならなかった。

でもね、こんなに暑くなるとなあ。35℃なんて窓を開けても熱風しか入ってこない。いつの間にか窓を開けることも少なくなった。窓を開けなくなったらCDが聞こえる(いまだにCD)、大声で歌っても恥ずかしくない、そして何よりも涼しい。今では5月の山道以外はほとんど窓を開けなくなった。というわけで、日本に近づいてきていた台風がどうやら東北からは少しそれていきそうになった日曜日。きちんと窓を閉め、エアコンの効いた車内で、ドラマ『ビーチボーイズ』のサントラCDをガンガンかけながら向かうは天童のかき氷屋さん。どちらかといえば、気分は広海よりも海都。どこまでも明るく夕

## 編集後記



4月下旬に「消滅可能性自治体」名が報道され、秋田県では男鹿市が上小阿仁村を抜いてトップに躍り出た。当医師会名は男鹿で始まる。会員80名のうち25名30%、開業医27名のうち11名40%が男鹿で医療を担う。鹿と若い娘を半島から駆逐したナマハゲ。だがナマハゲを見殺しにして秋田と日本に未来はない▼理事会前夜子の刻、会長は奥方の悲鳴に起こされた。原因はパリ五輪男子体操団体の逆転

金メダル。絶不調の橋本大輝が最後の鉄棒を決め中国を制したのである。同夜は八郎潟町で同町出身の志田千陽ちひるのバドミントンPV中継だった。韓国に惜敗するも決勝リーグ進出、そしてパリに一日市の花を咲かせて銅。「シダマツ田圃アート」を塞ノ神に田植えた春、壮行会で見送った6月、町民の歓喜は大久保の悲鳴どころではなかった▼今号も玉稿多数、会員諸兄姉に深謝。日本人1億が今世紀中に入れ替わる大量死を前に、仏教が墓終いをしてどうす

ると活を入れる三浦先生は、自ら看取った人々への思いを薔薇のドライフラワーに託す粋なお方。その話は別の機会に▼妹尾先生も憐れむ小田野直武の墓は編者の角館散歩コース。墓は全て故人の、確かとはいえないまでも生きた証。その墓場を札幌の闇夜に滑走したとは…おそるべし直也少年！▼斎藤崇先生はミステリー仕立ての回想。教授は仲間はどう報告したのだろう▼母親の転倒に今野先生の即時診断は命に別状なし…親に贈った墓と墓地の足元注意を訴え



塞ノ神公園の田んぼアート (八郎潟町 8月11日)

だった反町隆史よりはちよつと屈折した竹野内豊の役に親近感がわく。いいんです。どちらもお前とはかけ離れているなんて言われなくてもわかっていきます。助手席を見たって、広末にも稲森いずみにも似ていないんだから。でも気分はあの夏なんだよ。

1台分だけ空いていた駐車

場に滑り込み、4年前に来た時よりは短い行列に並んだ。白桃ミルクとミックスベリーをそれぞれ注文する。僕は、かき氷で頭が痛くなる(ちなみにこれは「アイスクリーム頭痛」と呼ばれ「寒冷刺激による頭痛」として正式に頭痛の分類に病名として載っている)のでちよつとずつ、休み休み、チビチビ、なん

だかいじましい。相棒は全く平気のようで「おいしいね」と悠々と口に運ぶ。往復370kmのドライブから戻り1杯。今夜はキルホーマン。クラッシュアイスにアイラモルト、これこそ大人のかき氷ってやつだ、と独りごちる。シェリー樽仕上げでかすかに感じる甘みがでる。親父の余韻

だ。ウイスキーなら頭も痛くならない。気分は『boss』の野立信次郎。そう、大人になった竹野内豊。いいんだよ。わかっている。似てないよ。

〈酔〉







今年の15回目で終了となった一日市盆踊り前夜祭  
サンパ・パレードとステージ演奏(はちパル 8月17日)



日本海総合病院 (酒田市・6月)  
2008年に山形県立病院と市立酒田病院が統合した。人口減により新たな合併が再び模索されている

る。代々の寺と墓に見切りをつ  
け新しく墓を求めた肥田野先生  
もエライが、編者も知るその憧  
れの人は先生をお迎えには来な  
い。多分▼温暖な熱海から五城  
目へ移住した漆畑先生は地域お  
こし活動にも熱心である。秋元  
先生のキリタンポの具と化した  
のは比内地鶏か。父上の食遺訓  
を守る律儀者だ▼盛岡の寺町が  
古里のひろ子先生、婚家の遠い  
お墓を編者は知っている。小田  
野直武の墓の…。墓参りは祖先  
へのささやかな孝行という波多

野先生も遠い新潟へ不安を抱え  
つつ通う▼「たまに熊でる」元  
木山に範明会長の父上、当会元  
会長の宜明先生は眠る。名文家  
であった▼経験豊富、働き盛  
りのベテラン新人、近藤先生  
の「医療情報」に期待大。加澤  
先生の医道雀道への熱き思いに  
感銘を受けた。愛児と共に励ん  
で頂きたい▼松本先生ご推薦の  
聲・難聴者に関わる作品の多さ  
に驚く。来年は東京デフリン  
ピック▼リレー代役をお願いし  
た坪井先生は記憶力抜群の物知

り。もつと書いて頂きたい。勉  
強会担当の吉田賢志記者とナイ  
トキャップ酔にも感謝▼今号の  
「お墓」を語る会員たち、その  
優しさ、周囲への気配り、みん  
ないい医者だ。頼りにできると

しみじみ思う。人口や会員数が  
減っても男鹿潟上南秋医師会は  
不滅だ！(1度こういうセリフ  
で決めたかった)  
次号は来年1月。乞うご期待。  
(編集長・佐々木康雄)

### 表紙説明

田沢湖高原の秋

大日向かなえ

(千葉克介写真教室)

昨年10月に撮影した田沢  
湖とコスモスです。

雪のシーズンに賑わうイ  
メージの田沢湖スキー場で  
すが、実は冬以外も楽しめ  
ます。

ぎんれい第1リフトでス  
キー場のゲレンデ中腹まで  
運んでもらい、360度の  
大パノラマの紅葉を見物し

ながら歩いて下ると、カ  
フェやドッグラン、写真の  
コスモス畑があるエリアに  
到着します。

私が訪れた日はちょうど  
コスモスも見頃で、田沢湖  
とのコラボレーションに目  
を見張りました。道路が整  
備されているのでリフトに  
乗らず車で行くことも可能  
で、駐車場すぐのスポーツ  
センターでは日帰り入浴も  
できます。今年の紅葉狩り  
に田沢湖スキー場、おすす  
めです！

お便りは 〒018-1401

潟上市昭和久保字町後173-42

医師会メールアドレス

info@oknmed.jp

ハートインクリニック

佐々木 康雄